

8-27(2)

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19313報)

平成31年2月20日8時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19310報でお知らせしたとおり、2号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)については、本日5時51分にSFP循環冷却系の運転を停止しました。</p> <p>冷却停止時のSFP水温度は18.1℃でした。</p> <p>【公表区分:E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無(無)

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

14:43 受

様式0-1 (1/2) 1/3

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19314報)

平成31年2月20日14時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 2月19日] 地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果 [採取日 2月18日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

2/3

地下貯水槽観測孔 分析結果(2019年2月19日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻			8:23				8:30				8:36	
全ベータ(Bq/L)			81				ND(24)				ND(24)	

地下貯水槽観測孔(i~iii)										地下貯水槽観測孔(vi)		
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3		
採取時刻			8:43				8:50					
全ベータ(Bq/L)			29				ND(24)					

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果(2019年2月18日分)

	地下水バイパス 調査孔			海側観測孔							
	a	b	c	①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
採取時刻		8:31	8:51							8:07	
全ベータ(Bq/L)		ND(23)	ND(23)							25	
トリチウム(Bq/L)		49	35							240	

半減期 トリチウム:約12年

* トリチウム以外のデータは2月19日にお知らせ済み。

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

14:43 受

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19315報)

平成31年 2月20日 14時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 2月18日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分: その他】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	2月18日	2月18日	2月18日	2月18日
採取時刻	9:20	8:58	9:11	9:02
Cs-134(約2年)	240	64	65	ND(7.6)
Cs-137(約30年)	2,800	800	990	69
全β	4,300	2,600	1,600	170
H-3(約12年)	390	420	ND(120)	240

*NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

14:43 受

様式9-1(1/2) 1/9

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19-3.16報)

平成31年2月20日14時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<p>・プラント関連パラメータ [2月20日11時00分現在]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 2月19日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 2月19日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 2月15日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 2月19日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 2月19日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクL、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、2月21日に排水を実施します。</p> <p>排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 2月14日] ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 2月14日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/9

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年2月20日 11:00現在

【留意事項】
 各計測値については、地震やその他の緊急事態の影響を受けて、通常の使用時の状態を
 示しているものもあり、正しく測定できていない可能性のある計測値も存在している。
 プラントの状態を把握するために、このような計測値の不確かさも考慮したうえで、運転
 の状態維持から得られる情報を活用して全体の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.3 m ³ /h (2/20 11:00 現在)	給水系: 1.3 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (2/20 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (2/20 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.5 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.4 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.3 °C (2/20 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 20.1 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 20.0 °C (2/20 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 19.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 17.5 °C (2/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.3 °C (2/20 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 21.1 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 20.6 °C (2/20 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 18.9 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 17.2 °C (2/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.53 kPa g (2/20 11:00 現在)	3.50 kPa g (2/20 11:00 現在)	0.34 kPa g (2/20 11:00 現在)	
空素封入流量 ※3	RPV (RVH): 14.07 Nm ³ /h (JP-A): 14.54 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h ※4	RPV: 10.58 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/20 11:00 現在)	RPV: 17.46 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/20 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.4 m ³ /h (2/20 11:00 現在)	14.34 Nm ³ /h (2/20 11:00 現在)	17.97 Nm ³ /h (2/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.01 vol% B系: 0.00 vol% (2/20 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: - vol% ※5 (2/20 11:00 現在)	A系: 0.04 vol% B系: 0.03 vol% (2/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.90E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.70E-04 Ba/cm ³ B系: 指示値 1.00E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.50E-04 Ba/cm ³ (2/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm ³ ※5 B系: 指示値 - Ba/cm ³ 検出限界値 - Ba/cm ³ (2/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm ³ (2/20 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	- °C ※5 (2/20 11:00 現在)	- °C ※5 (2/20 11:00 現在)	17.3 °C (2/20 11:00 現在)	13.5 °C (2/20 11:00 現在)
FPC 炉内水位	- m ※5 (2/20 11:00 現在)	5.04 m (2/20 11:00 現在)	4.31 m (2/20 11:00 現在)	30.2 ~ X100mm (2/20 11:00 現在)

【計測値に関する留意事項】
 ※1: 指示値がマイクログラムの単位は0.0000%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイクログラムで表示される場合があるため)
 ※2: 原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。
 ※3: 格納容器検出限界値を記載する。
 ※4: 原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。
 ※5: 圧力容器の水素濃度を記載する。

2019年2月20日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレナージュ水核種分析結果

1-131 (Bq/L)

Table with 19 columns (2/3 to 2/19) and 9 rows of data for measurement points 1-9. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values like 7.1, 5.2, 5.7, 4.8, 5.5, 6.0, 6.1, 60, 53.

CS-134 (Bq/L)

Table with 19 columns (2/3 to 2/19) and 9 rows of data for measurement points 1-9. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values like 7.1, 5.2, 5.7, 4.8, 5.5, 6.0, 6.1, 60, 53.

CS-137 (Bq/L)

Table with 19 columns (2/3 to 2/19) and 9 rows of data for measurement points 1-9. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values like 7.1, 5.2, 5.7, 4.8, 5.5, 6.0, 6.1, 60, 53.

- <測定箇所>
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤固体廃棄物貯蔵等処理建屋南
⑥サイト/マンカ掘削箇所
⑦焼却工作建屋 西側
⑧焼却機廃棄物貯蔵等処理建屋北
⑨サイト/マンカ掘削南東

*1はサンプリング測定を実施していないことを示す。
*2は①が検出不可となったため、地下水流の上流側として選定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)。
*3は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)。
*4は追加で測定(2011/5/30~)。
*5は追加で測定(2011/8/2~)。
*6は検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。
*7 異常値により採取中止

3/9

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

採取日	A排水路					物揚場排水路				
	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日
採取時刻	8:03	7:25	7:40	7:50	7:48	8:08	7:30	7:45	7:54	7:53
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	0.70	ND(0.75)	ND(0.66)	ND(0.41)	ND(0.64)	ND(0.70)	ND(0.60)	ND(0.55)	ND(0.56)	ND(0.74)
Cs-137(約30年)	4.4	3.6	3.2	3.9	4.1	1.1	1.3	ND(0.73)	1.3	1.1
全β	10	11	8.7	8.6	9.6	ND(4.0)	ND(3.1)	ND(3.4)	ND(3.1)	ND(3.2)
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

採取日	K排水路					BC排水路				
	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.82)	ND(0.50)	ND(0.92)	ND(0.73)	ND(0.93)	ND(0.61)	ND(0.68)	ND(0.45)	ND(0.63)	ND(0.66)
Cs-137(約30年)	2.7	2.7	3.0	2.5	2.9	ND(0.90)	ND(0.90)	ND(0.68)	ND(0.76)	ND(0.82)
全β	ND(4.0)	4.7	4.8	4.5	4.8	ND(3.5)	ND(3.3)	ND(3.3)	ND(3.4)	ND(3.4)
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 大枠内が今回公表データ。他は2月19日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

4/9

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(旧)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻				2月15日 7:58			2月15日 7:58	2月15日 7:55			2月15日 7:19	2月15日 7:38	2月15日 8:18	2月15日 7:28	2月15日 7:42
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)				ND(0.31)			ND(0.31)	1,800			ND(0.46)	6.4	ND(0.50)	12	ND(0.34)
Cs-137(約30年)				ND(0.47)			ND(0.47)	22,000			0.91	89	0.69	160	ND(0.46)
その他				ND			ND	40			ND	ND	ND	ND	ND
全β				23,000			23,000	190,000			ND(12)	1,400	28,000	19,000	55,000
H-3(約12年)				43,000			43,000	3,500			1,000	33,000	1,300	1,400	15,000
Sr-90(約29年)															

採取日	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(旧)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻												
塩素(単位: ppm)												
Cs-134(約2年)												
Cs-137(約30年)												
その他												
全β												
H-3(約12年)												
Sr-90(約29年)												

* 太枠内が今回公表データ。他は2月16日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてその後測定。

5/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(田)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							2月19日 8:15	2月19日 8:06	2月19日 7:22	2月19日 7:37	2月19日 7:30	2月19日 8:31	2月19日 7:19	2月19日 7:56
塩素(単位: ppm)														
Cs-134(約2年)							ND(0.48)	1,700	98	ND(0.30)	8.9	ND(0.34)	14	ND(0.41)
Cs-137(約30年)							ND(0.50)	21,000	1,200	0.52	110	1.0	170	ND(0.54)
その他							ND	35	ND	ND	ND	ND	ND	ND
γ														
全β							22,000	180,000	11,000	ND(16)	1,200	26,000	18,000	59,000
H-3(約12年)							分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中
Sr-90(約29年)														

採取日	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(田)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(田)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻	2月19日 7:54												
塩素(単位: ppm)													
Cs-134(約2年)	ND(0.95)												
Cs-137(約30年)	6.4												
その他	ND												
γ													
全β	160,000												
H-3(約12年)	分析中												
Sr-90(約29年)													

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

6/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一5.6号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物揚場前	福島第一1~4号機取水口内北側(原液除染北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
2月19日	7:56	ND(0.54)	7:43	7:20	7:25	7:35	7:25	7:00	6:48	6:46		
Cs-134 (約2年)		ND(0.54)	ND(0.47)	ND(0.58)	ND(0.76)	0.71	ND(0.67)	ND(0.67)	ND(0.43)	ND(0.31)	60	10
Cs-137 (約30年)		1.2	0.97	6.2	6.0	6.3	ND(0.75)	ND(0.75)	1.0	0.88	90	10
全β		ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	10	ND(17)	ND(17)	ND(17)	60,000	10,000
H-3 (約12年)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—	—	—	—	—	—		

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一港湾中央	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
2月19日	6:44	6:44	6:42	6:50	7:16							
Cs-134 (約2年)		ND(0.29)	ND(0.29)	ND(0.26)	ND(0.53)						60	10
Cs-137 (約30年)		0.67	1.1	1.4	0.93						90	10
全β		ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)						60,000	10,000
H-3 (約12年)		—	—	—	—						30	10
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—							

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/9

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

	一時貯水タンクL (サンプルタンクL)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年2月14日	2019年2月14日			
採取時刻	6:46	6:46			
貯水量 [m ³]	580	580			
セシウム134	ND(0.71)	ND(0.59)	1	60	10
セシウム137	ND(0.46)	ND(0.59)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.2)	ND(0.36)	3(1) ^(注)		
トリチウム	880	940	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

2019年2月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

	Gr1(グループ1)		運用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年2月14日	2019年2月14日			
採取時刻	7:53	7:53			
貯水量 [m ³]	2,180	2,180			
セシウム134	ND(0.60)	ND(0.59)	1	60	10
セシウム137	ND(0.63)	ND(0.38)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(0.80)	ND(0.50)	5 (1) (注)		
トリチウム	110	120	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 日本分析センター

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

9/9

16:09 受

様式0-1(1/2) 1/1
(第19317報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成31年 2月20日 15時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19309報他でお知らせしたとおり、5号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)については、予定作業が終了したことから、本日15時01分にSFP冷却浄化系の運転を開始しました。 運転状態については、異常のないことを確認しています。 起動後の使用済燃料プール水温度は、21.2℃(停止時17.3℃)です。 【公表区分:E】 ※添付の有(無)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。